

群衆科学

——潜在的被曝フリーターとして——

講師：平井 玄

分類することが非常に困難で、その歴史をたどることさえ難しい
ある種の科学、あるいは科学のある種の扱い方が存在する。
それは通常の意味での「技術」ではないが、さりとて歴史的に
確立された王道的ないし合法的意味での「科学」でもない。

(ドゥルーズ+ガタリ『千のプラトー』宇野邦一他訳、
「1127年——遊牧論あるいは戦争機械」より)

日時：2011年7月10日(日)
14:00-17:00

会場：カフェ・コモンズ

(会場 URL: <http://cafe-commons.com/index.html>)

アクセス:

- JR 京都線「摂津富田」駅下車、南出口より徒歩3分
 - 阪急京都線「富田」駅下車、北出口より徒歩2分
- WESTビル5F

★予約制 (定員30名・参加無料)
お問い合わせ&お申し込みは赤尾まで。
Mail: e.pithecanthropus@gmail.com
Tel: 070-5600-3611

- 1) 始まったサイエンス行動
 - ・丸と円：小出助教と山下教授
 - ・反20ミリシーベルト文科省アクション
 - ・原子力資料情報室とたんぼぼ舎；良き民衆科学
 - ・東京油田力：廃食油によるサウンドデモ発電
 - ・東京砂場プロジェクト
- 2) 「群衆」の再発明
 - ・3月東電前アクション
 - ・4-6月素人の乱デモ
 - ・東アジアの群衆思想史：竹内好「アジア主義論」から
 - ・フリーター：労働者の遊牧的定義
- 3) 群衆科学と「皇道科学」
 - ・新宿タハリール広場で6.11に起きたこと
「多としての多」と「一へ向かう多」
 - ・中沢新一+内田樹ら『大津波と原発』の「皇道科学」
津波震災の遊牧水理学／原子力の原国家
 - ・群衆労働者が「電力総連」に挑む
 - ・南相馬、須賀川、福島を過る



講師紹介 ひらいげん。1952年東京・新宿生まれ。「洗濯屋」自営業の後、出版業界で現在までフリーター歴22年。音楽アクティヴィスト集団 [demusik inter.] のメンバー。高円寺「素人の乱12号店」などで【地下大学】を共同運営。著書に、『愛と憎しみの新宿』（ちくま新書、2010）、『ミッキーマウスのプロレタリア宣言』（太田出版、2005）、『引き裂かれた声』（毎日新聞社、2001）、『暴力と音』（人文書院、2001）、『破壊の音楽』（インパクト出版会、1994）、『路上のマテリアリズム』（社会評論社、2009）がある。